



県立図書館通信

10月。だんだん日が短くなり、夜が長くなってきたなあと感じる毎日。そんな長い夜には読書などいかがですか？図書館を活用して読書の秋を楽しんでください♪

佐賀県立図書館の本の中から、高校生におすすめの本を紹介します。

新しく入った本



「ガラスの梨」

越水 利子/作 牧野 千穂/絵
ポプラ社/発行
資料コード 120915707

昭和16年夏、笑生子は大阪の国民学校3年生。家族と共に幸せな日々を過ごしていました。しかし、戦争の影が忍び寄ってきて…。本書は、太平洋戦争中に大阪大空襲に見舞われた著者の母の体験をもとに書かれています。平和の尊さについて考えさせられる1冊です。



「日本のレトロびん」

平成ボトル倶楽部/監修
グラフィック社/発行
資料コード 115920217

びんといえば、今でこそ機械で均一な形をしています。当初は手作業によりゆがみがあったりしたそうです。本書では、明治初期から平成まで、国産びんの歴史を交えながらカラーで紹介しています。どこか懐かしい味わいのあるものばかりです。



「17音の青春 2018」

神奈川大学広報委員会 / 編
角川文化振興財団/発行
資料コード 115907826

5・7・5の17音で表現される俳句の世界。その17音のなかに、情景が浮かぶようなことばがちりばめられています。みなさんと同世代の人々が詠んだ俳句、共感する部分がたくさん見つかるかもしれません。応募高等学校数197、応募総数11984通の中から最優秀賞、団体優秀賞、団体奨励賞などの5賞が選ばれ、収録されています。



「僕の未来だった君へ」

鳥海 嶺/著
小学館/発行
資料コード 115915001

「私、雪女なんです。」春の桜並木、辛い過去を背負う高垣直樹は、冬に取り残されたような不思議な少女に出会いました。その日以来、小学生の頃、自分を「私の未来」と呼んでくれた仲良しの少女を思い出すようになって…。辛い過去から逃げるように過ごした日々がどのように変わっていくのか必見です。

読んでみよう

秋におすすめ

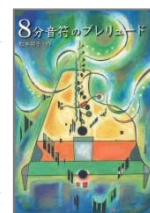


10月27日(土)～11月9日(金)は、読書週間です。この機会に、秋におすすめの1冊を見つけてみませんか？



「ナミヤ雑貨店の奇蹟」 《図書館実習生が選んだおすすめの1冊です》
東野 圭吾/著 角川書店/発行 資料コード 115100497

泥棒に入り逃走中の3人が見つけたのは、今は営業していない“雑貨店”。店内で夜明けを待っていると、突然郵便口から手紙が…。かつて、お悩み相談所として栄えていた雑貨店で起こる心温まる物語です。



「8分音符のフレリュード」《図書館実習生が選んだおすすめの1冊です》
松本 祐子/著 小峰書店/発行 資料コード 120661731

吹奏楽部でフルートを演奏している果南と転校生の透子がときに反発しあいながら徐々に心を通い合わせ、成長していく物語。中学生の成長途中の確幸と音楽に触れることのできる1冊です。2人の女の子の成長をのぞいてみませんか？



「真夜中のパン屋さん」

大沼 紀子/(著) ポプラ社/発行 資料コード 120737242

真夜中に営業するパン屋さん「ブランジェリークレバヤシ」。深夜にもかかわらず、毎日いろんなお客さんがやってきて…。お客さんとパン屋さんとの心あたたまる物語、読んでみるとおながくなってしまいかも。



「和菓子のアン」

坂本 司/著 光文社/発行 資料コード 114446842

梅本杏子18歳。将来の夢は…。特になければ、食べることは大好きという理由から、デパ地下の和菓子屋さんでアルバイトをすることになりました。謎めいたお客さんもいてその行動が気になりますが…。

■編集■ 佐賀県立図書館 企画課 図書館ネットワーク担当 (0952-24-2900)

◎この通信はHPにも掲載しています。蔵書検索もできます。

☞<http://www.tosyo-saga.jp/kentosyo/>

問い合わせはこちらまで